

患者さまへ

上腸間膜動脈塞栓症における来院から血栓除去までの時間と予後の関連

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2010年8月より2024年8月までに湘南鎌倉総合病院において上腸間膜動脈(SMA)塞栓症(腸に血流を送る主要な血管が詰まる病気)で手術(開腹手術またはカテーテルを用いた血管内治療)を施行する/した方
2 研究目的・方法	SMA塞栓症は腸に血流を送る主要な血管が詰まる病気、手術などの迅速な対応が必要な腹痛を起こした患者さまの中でも約1%程度しかいないとされている非常に稀な疾患です。SMA塞栓症における、来院から血栓除去までの時間とその後の経過の関連については十分研究されていません。 本研究では、SMA塞栓症の患者さまで手術(開腹手術またはカテーテルを用いた血管内治療)を施行した患者さまを対象として、来院から血栓除去までの時間によってその後の経過に変化があるかどうかを検討します。 研究の期間:施設院長許可(2024年8月予定)後~2025年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、血液検査データ、CT所見、来院から血栓除去までの時間 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 鎌口清満 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科・集中治療科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024年8月29日作成(第1.1版)